

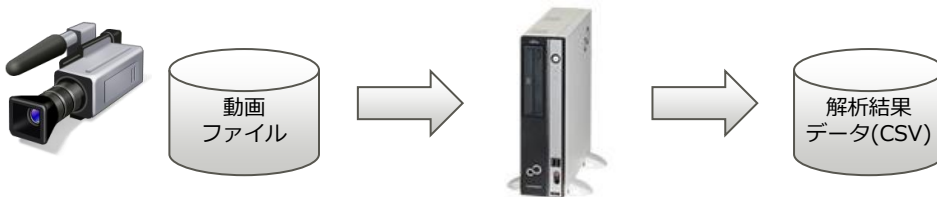
製品概要

MiZZO! (ミZZ!) は、カメラ映像に写った人や車両、動物など、動体の動きを画像認識し、デジタル化します。本製品の主な機能は、以下の3つです。

- ①動体カウント : 特定の場所を通過した動体をカウントします。
- ②滞留時間計測 : 特定の領域内に、動体が留まった時間を計測します。
- ③軌跡表示 : 動体の移動座標を記録し、移動軌跡を表示します。

デジタル化されたデータは、カメラ映像上での表示やグラフ化などを行うことで、動体の行動傾向を知るために利用できます。例えば店舗や工場内で人溜まりができる場所、顧客や従業員の動線、人や車の増減が顕著な時間帯を分析できます。

また、バッチ機能を使って、自動的に解析を行わせることができます。



▼MiZZO! の画面イメージ

動体カウント	滞留時間計測	軌跡表示	グラフ表示

適用分野

人や物の動きを解析するような業務分野。

特徴・実績

映像を解析し、結果を数値やグラフで可視化できます。

分かりやすいインターフェースで簡単に解析設定が行えます。

富士通のフィールド・イノベーション*活動で活用されています。

*<http://jp.fujitsu.com/fieldinnovation/>

機能概要

機能	概要
動体カウント解析	映像上に指定したラインを横切る動体を検出し、カウント（人数など）できます。複数のラインを指定できます。
滞留時間解析	映像上に指定したエリア内に滞留する動体を検出し、滞留時間を計測できます。複数のエリアを指定できます。
軌跡解析	動体の動きを検出し、軌跡データを出力できます。
データ出力・結果表示	映像を解析した結果はCSVファイルに保存されます。解析結果は、動体の映像上に重ねて表示したり、グラフで表示したりできます。
バッチ処理	指定のフォルダをチェックし、映像ファイルが存在する場合、自動的に解析を行います。タスクスケジューラに登録することで、定期的に解析処理を行えます。

システム要件

- ・動作環境：Windows7 以降
- ・推奨環境：CPU 3GHz以上のマルチコアCPUを推奨、メモリ2GB以上を推奨
- ・映像ファイル形式はWMVなどWindows7で再生可能なもの。

【ご注意：映像ファイルのコーデックについて】

MiZZO! は DirectShow 対応のコーデックを利用できます。ただし、MiZZO! に映像再生用コーデックは含まれておりませんので、解析対象の映像が Windows 標準以外の場合は、対象映像に応じた DirectShow 対応のコーデックをインストールする必要があります。

価格

- ・1ライセンス 150万円（税抜）
 - ・10ライセンス 900万円（税抜）※1ライセンスあたり90万円
 - ・100ライセンス 4500万円（税抜）※1ライセンスあたり45万円
- ※製品ご購入の際、メディアパック（10,000円（税抜））というインストール媒体のみの商品が必要です。メディアパックには使用権は付属しておりませんので、必要なライセンス商品をそれぞれ購入してください。
- ・年間メンテナンス&サポート 1ライセンス年間22.5万円（税抜）
 - ・10ライセンスパック 年間135万円（税抜），100ライセンスパック 年間675万円（税抜）
 - ※月間メンテナンス&サポートもご用意しております。
- ・カスタマイズ 個別見積

お問い合わせ先

富士通株式会社

SI技術本部 技術戦略統括部

〒144-8588 東京都大田区新蒲田1-17-25 富士通ソリューションスクエア

TEL：03-6424-6673

Mail：contact-imagepower@cs.jp.fujitsu.com